

令和 6 年度学校評価報告書

令和 7 年 3 月 19 日

北海道札幌白陵高等学校長 渋谷 圭 印

次のとおり令和 6 年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 授業方法や内容の工夫・充実により、基礎・基本を確実に身に付け、主体的に学ぶ生徒を育成する。
- (2) 基本的な生活習慣を確立し積極的な生徒指導を推進するとともに、特別活動等を通じて達成感や自己有用感を育成する。
- (3) 計画的な進路指導やキャリア教育を実施するとともに、個に応じた指導を通じて自己実現を図る生徒を育成する。
- (4) 健康・安全教育を一層充実し、自他の生命を尊重し、自ら進んで心身の健康の保持増進を図る生徒を育成する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	○授業・HR 活動等で端末を活用されている事例が数多くみられた。他校の有益な具体例を校内にさらに情報発信していく。 ○年度初めに予定した観点別評価とClassi の講習会を予定通り実施できた。	○端末・シラバスの活用、観点別評価はすぐに良い結果・良い評価がでると思わない。生徒の個性や先生方の考え方もそれぞれなので、毎年改良・更新長期的に考えた方がよい。 ○減点主義から加点主義へ。特にポイント重視。
改善方策	○生徒の学ぶ意欲を喚起する授業のために、教員間で連携をとる。また、教科横断的な視点でどのような取組ができるかを検討していく。	
生徒指導	○問題行動を未然に防止するための具体的方策を検討する必要がある。 ○生徒、クラスの減少による行事のあり方について検討する。	○学校は集団生活を送るために守るべきルール、家庭では教えてくれないことを教えてくれるところ。問題行動を起こしてしまう主な原因は家庭環境や親のしつけが大きく影響していると思う。 ○難しい時ですがメリハリある人間性を。 ○卒業式など見ると充実した表情の生徒が多い。良い指導をされているのでは。
改善方策	○校則の運用と指導のあり方を全員で共有認識のうで進める。 ○内規の見直しを行っていく。 ○生徒への支援が適切に進めていけるような組織づくり、体制づくりをすすめる。	
進路指導	○大学の総合入試にも対応できるような、生徒の探究活動について計画する必要がある。 ○進路相談員との面談は 2 年次生も年度内に 2 度実施した。生徒の進路活動への動きを早くするきっかけになった。	○社会人としての自信とその生徒の特色等の見極めを。 ○進学率・就職率は非常に高いので先生方の努力が感じられる。
改善方策	○進路ガイダンスを細分化、工夫して計画をしていく。 ○外（社会）とのつながりのある方からの助言はとても有益であるため、今後でもできるだけ日程を確保する。	
学校運営	○メールやホームページ、各種たよりなどを通じて、本校からの連絡や情報が適切に発信されている。継続してしていく。 ○学校満足度について、さらに向上できるよう全力を挙げる。	○特徴のある学校をのぞむ。 ○家庭の事情でアルバイトをしているという現実には驚きと衝撃を受ける。アルバイトができるから白陵を選ぶのか、他校でも同様なのか。親としては学生生活の 12 年間は自分の好きなことをやって欲しい。自分のためにアルバイトをすることは素晴らしいと思うが、家庭のためとなると何のために学校に行っているのか考えてしまう。
改善方策	○学んで何ができるようになったか、その結果どのような自己実現に至ったかを学校として整理し、生徒がよりよい未来を描けるよう支援・援助していく。	
公表方法	○学校 Web ページで公表する。	